

「白鳥通信」〈第29号〉平成29年7月10日（月）

### 敬天愛人の原点

敬愛学園の創立者長戸路政司先生は、大学時代評判の高かったウィリアム・シエニングス・ブライアン氏の講演を聴きました。「敬天愛人」は「西洋の道德宗教の神髄を端的に表したものである」という氏の説明に感動しました。先生は西郷の人格の偉大さと崇高さに驚き、追慕のあまり氏が遙々鹿児島へ墓参に行ったことも聴かされました。

敬愛学園でお世話になってくる創立者の墓参ができたことで、責任の重さを再認識し、新たな学校づくりの勇気がわいてきました。6月上旬の敬愛4高の校長研修で西郷隆盛の生地を訪問してきました。国公立大合格日本一の鹿児島県立甲南高校を訪問しました。昔の同僚の校長の案内で「ふるさと偉人館」、「西郷隆盛誕生の地」、「南洲神社」、西南の役で戦った2千名余の将兵も眠る西郷の墓参もしてきました。

なぜ西郷は明治維新の立役者になれたのでしょうか。それは薩摩の「郷中教育」の3つの戒め、「負けるな、弱いものをいじめるな、うそをつくな」をモットーに、生涯実践してきたからだと教えられました。

### 〇7月の言葉

人生はやり直しができます。毎日新しい一頁（ページ）が始まるからです。

〇「七」の成語・ことわざ

- ①七度尋ねて人を疑え  
むやみに人を疑ってはいけないたとえ。
- ②親の七光り  
親の社会的な地位や名声によつて、子どもが恩恵を受けること。
- ③無くて七癖  
どんな人でも多少の癖は持っていること。
- ④七転び八起き  
七度転んでも八度起き上がればよい。失敗してもくじけずに挑戦し続けること。
- ⑤兎も七日なぶれば噛みつく  
おとなしくてかわいいたも、毎日のようにいじめていけば、怒りをあらわにして、噛みついてくること。